

税制を通して

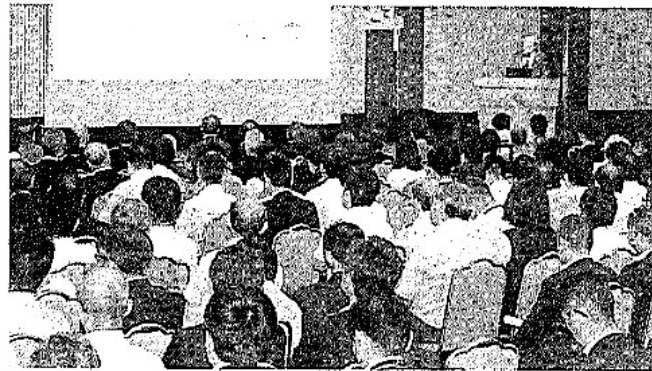
日本の課題考察

宮坂建設工業が
鳥羽氏招き講演会

宮坂建設工業（本社・

帯広）は11日、元東京国税局長の鳥羽衛氏を招き、京王プラザホテル札幌で時局講演会を開いた。写真。10年連続12回目の開催で、約1200人が参加。税を通じて日本が直面する諸課題について理解を深めた。

鳥羽氏は1975年東



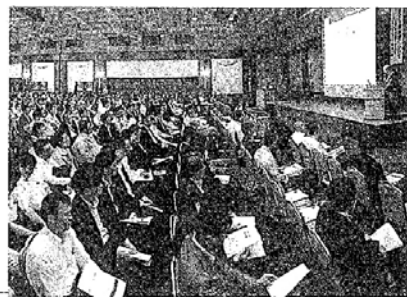
大法学部を卒業し、大蔵省（現財務省）に入省。東京国税局長を最後に退官した。現在、長島・大野・常松法律事務所のシニアカウンセラーを担っている。

講演会で鳥羽氏は、税の成り立ちや国の財政動向などを解説。ここ数年の税制改正の動きを振り返り、「所得税は人口構造や雇用形態の変化などに対して、税制がマッチしておらず、対応ができていない」と指摘し、一刻も早く手直しをする必要があると説いた。

PB黒字化達成に暗雲

宮坂建設工業 時局講演会

「税」のプロ・鳥羽氏が解説



1200人で埋まった講演会場

宮坂建設工業（帯広、宮坂寿文社長）主催の時局講演会が11日、京王プラザホテル札幌で開かれ、元東京国税局長の鳥羽衛氏が「日本が直面する諸課題について税を通じて考える」と題し講演した。

鳥羽氏は大蔵省（現財務

理念と、少子高齢化を止める施策との「また裂き」状態だ」と憂慮した。

世界の経済構造の変化について、鳥羽氏は国際課税の分野で日本の地位低下を予測。OECD未加盟の中国、インドの台頭が、世界経済の台風目になると予想した。

南海トラフ地震など発生確率が高いとされる自然災害の影響が「経済見通し等に反映されていないのは不自然だ」と鳥羽氏は指摘。

「財政がへたっているときに大きな災害が発生するとどうなるか。今から議論しておく必要がある」と日銀、政府に注文を付けた。

このほか、人工知能（AI）の普及に伴い「人間の仕事をAIが代替えた場合、人工知能に課税できるのか」といった検討は白紙の状態」と解説した。

講演会は平成二十年から十年連続十二回目の開催。一千二百席の会場は建設業界関係者や一般市民で埋まった。